

いんふおめしよん こうせい

Information Kosei

ご自由にお取りください

2021年
1月
No.111



Index

P2 特集1

安城更生病院の発展的再構築
次世代を担う医療機関へ

P5 連携医紹介 ■いちかわメディカルクリニック
■みみ・はな・のど 長坂クリニック

P6 特集2

開設10周年を迎えました！
総合周産期母子
医療センター

P8 News & Topics



オレンジ色の部分が、現在建設中の建物です。



2021年6月オープン予定

高精度放射線治療棟 ビジョンと展望

身体への負担が
少ない最新の医療
機器を導入します。



ロボットアームの先に放射線治療装置が取り付けられた「サイバーナイフ」



放射線の強度が変化する、強度変調放射線治療を使用した「トモセラピー」

最新の医療機器を導入し 地域のがん治療を強化

がんの治療にはさまざまな方法がありますが、3大療法として、患部を切除する「手術」、抗がん剤を投与する「化学療法」、そして患部に放射線を照射する「放射線治療」があります。放射線治療には副作用が伴うため、身体への負担が深刻な問題となっていました。しかし医療機器や技術は日々進歩しており、身体の正常な組織への影響を極力抑えた治療法が可能となってきました。

器を備えた高精度放射線治療棟を開設します。新しく導入する医療機器は、自在に動くロボットアームを用い、放射線をピンポイントで集中的に腫瘍へ照射する「サイバーナイフ」、身体の周りを360度回転し、がんの複雑な形状にあわせて強度を変化させながら放射線を照射する「トモセラピー」の2種類です。これによって、今までは他病院に協力を求めているケースでも、当院で治療を完結することが可能となります。

地域がん診療連携拠点病院として、患者さんの負担を軽減し、地域で安心して過ごしていただける環境を整えていきます。

安城更生病院の発展的再構築

次世代を担う医療機関へ



3つの再構築で病院機能をさらにパワーアップ

1 高精度放射線治療棟建設

2 新棟建設

3 既設本棟改修

新型コロナウイルス感染症のパンデミックとともに迎えた2020年でしたが、現在まで収束の見通しの立たない状況が続いています。そのような中であるからこそ、安城市の市民病院の役割と、高度医療を提供する圏域の中核病院、さらには優れた医療人を育成する教育病院という当院の責務を果たし続けるため、本年も職員一丸となって全力で取り組んでまいります。感染対策等でご不便をおかけすることがあると存じますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

コロナ禍の中でも当院の施設整備、発展的再構築は順調に進捗しています。本年6月には、おそらく本邦2施設目となる最新鋭治療機器2台を擁する高精度放射線治療棟が、12月には6階建ての新棟が相次いで稼働します。その後、既存棟を改修し、すべての整備が完了するのは来年6月の予定です。安城更生病院の果たすべき4つの中核機能、すなわち、救命救急医療・周産期医療・災害医療・がん医療のいずれも強化してまいります。新たに総合がん治療センターを創設、外科手術・抗がん剤治療・放射線治療の3本柱のいずれも大幅に強化し集学的治療を実現します。先述の高精度放射線治療棟に加えて、手術室を増設し手術支援ロボットを導入、抗がん剤治療を受けていただく外来・病棟双方を大幅に拡充します。もちろん、がん医療のみならず、すべての領域で最適な医療を最高のホスピタリティとともに提供するため、一層精進してまいります。2021年も安城更生病院にぜひご期待ください。

2021年、
年初にあたりまして、
ご挨拶申し上げます。



病院長
度会 正人
Masahito Watarai

2021年12月～2022年1月オープン予定

新棟（がん医療・高度急性期医療）



いざというときに頼れる病院を目指します。



- 6F 機械室
- 3～5F 入院病棟
- 2F 通院治療センター・外来
- 1F 予防医療センター

がん医療・高度急性期医療機能を充実させ、地域に安心をお届けする

6階建ての新棟は、がん医療機能と高度急性期医療機能の充実を目的としています。既存棟から循環器、血液系疾患の外来、病棟機能などを移転させて拡充・拡張し、病院全体の機能を高めます。

1階の予防医療センターには、現在の健診センターが移

転リニューアルします。ここでは、地域の健康を守る健診機能を充実させるとともに、がんの早期発見にも取り組んでいきます。

2階には通院治療センターを移転し、病床は26床から43床に増加します。また、内科系の外来や検査機能の一部を移設し、加えて第2講堂も増設します。

入院病棟となる3～5階は、血管撮影室とハイブリッドLabo（ハイブリッド手術室と同等の機能を持つ設備）を設置し、CCU（循環器系疾患の集中治療室）、循環器系疾患、血液・腫瘍内科病棟を移転します。手術や処置の後にCCUへの移転がスムーズに行えるよう、さまざまな配慮がなされています。

また新棟では、大規模災害などの万が一の事態を見据え、災害時に備えた機能も整備しています。予防医療センターや第2講堂は、予備病床として災害時の患者収容にも利用することができます。

2022年6月改修完了予定

今を支える既存棟のこれから



着々と工事が進んでいます！

各機能を大幅に見直し、より快適で充実した空間へ

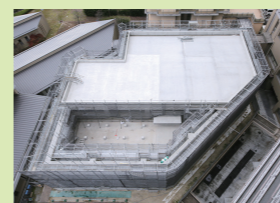
高精度放射線治療棟と新棟稼働の後は、いよいよ「発展的再構築」の最終段階、既存本棟の改修に入ります。ここでは新棟への移転で確保したスペースを活用し、さまざまな機能の充実が計画されています。

まずは手術室の拡張です。手術室は2室増室し、手術支援ロボットの導入が計画されています。そして隣接する病棟にはSICU（外科系集中

治療室）を開設。それによって診療機能を向上させるとともに、病床編成を見直して入院機能を強化します。それに加え、患者さんが安心して入院や退院を迎えられるように、入院支援センターを整備し、支援機能を充実させます。もう一つ見逃せないのが、アメニティの強化です。患者さんが利用するレストランやコンビニエンスストアをリニューアルし、さらにカフェを新設します。病院で過ごしたいだけでなく、快適になるよう工夫しています。

ただいま工事中です！

高精度放射線治療棟



2階までの型枠が立ち上がり、屋上も完成。内装工事がスタートしました。

新棟



全区画の掘削（土の掘り出し）が終了し、コンクリートの流し込みが開始されました。

連携医紹介

安城更生病院は、地域医療支援病院として地域の医院やクリニックと連携し、みなさんの健康を守っています。日常の健康管理やちょっとした体調の変化など、連携医に気軽にご相談ください。

いちかわメディカルクリニック

生まれ育った土地に兄弟で開業
父に倣い、地域で信頼される
クリニックを目指す

2019年8月、生まれ育った安城市に兄弟で開業しました。外科、消化器疾患および肛門疾患の治療を得意とする院長と、内科診療や内視鏡検査を得意とする副院長の2名体制で診療を行っています。風邪や花粉症、生活習慣病などの内科治療に加え、ケガの治療、日帰りで痔の手術まで幅広く対応しています。鼻からの胃カメラ、眠った状態での胃カメラ・大腸カメラを受けていただくことが可能で、最近では「下剤を飲まない大腸カメラ」をご希望される患者さまも増えていきます。またCTも完備しており、通常のレントゲン検査より精度の高い診断が可能です。医師であった父の姿を胸に、信頼していただけるクリニックを目指して全力で地域に貢献していきたいと思っています。



安城市新田町新栄 85-1（北安城駅から徒歩9分・あんくるバス中部福祉センター下車すぐ）
TEL 0566-77-7733 <http://www.ichi-med.jp>

- 診療科目：内科、外科、消化器内科
- 診療時間：午前9:00～12:00
午後3:00～6:00
(土曜午後2:00～5:00)
- 休診日：水曜・日曜・祝日



院長 市川 俊介（右）
副院長 市川 雄平

みみ・はな・のど

長坂クリニック

見える医療と丁寧な説明で
安心いただける治療を

2019年に岡崎市に開院し、2年が経過しようとしています。これまでも数多くの患者さんを診療し、手術が必要な際は安城更生病院に紹介させていただきます。大変お世話になっています。みみ・はな・のどの疾患はもろろんのこと、睡眠時無呼吸症候群、顔面神経麻痺、めまい症などさまざまな症状の患者さんが来院されます。また、音声発声障害の患者さんには専門的な知識を活かし、診療にあたっています。

耳鼻咽喉科は「怖い、痛い」などのイメージをお持ちの方も多いですが、そういった不安を軽減するように努め、患者さんに身近に感じていただけるクリニックを目指しています。また、画像や説明シートを用いたわかりやすい説明で、安全で安心な治療を常に心掛けています。



岡崎市六井町 2-1-3
(名鉄東岡崎駅より名鉄バス「甲山下」下車 徒歩3分)
TEL 0564-21-3387 <https://nagasaka-clinic.com/>

- 診療科目：耳鼻咽喉科、アレルギー科、小児耳鼻咽喉科
- 診療時間：午前9:00～12:00 午後3:15～6:30
土曜9:00～12:30
- 休診日：水曜午後・土曜午後・日曜・祝日



院長 長坂 聡

開設 10 周年を迎えました！

総合周産期母子医療センター



より安心してお産ができる
地域をめざして

2010年12月、当院は愛知県からの指定を受け、県下3番目・三河地区では初となる総合周産期母子医療センターを開設し、西三河地域の赤ちゃんとお母さんの大切ないのちを守る最後の砦として尽力してまいりました。そして、2020年12月1日にセンター開設10周年という節目を迎えました。

当センターは母体胎児センターと新生児センターで構成され、当院独自の新生児ドクターカー「きらり」によって新生児搬送を可能にしています。

母体胎児センターは出産リスクの高い母体・胎児のための集中治療室。分娩件数は県下有数で、その約7割がハイリスク妊娠です。複数の産婦人科医による当直体制を整備し、地域の産科施設からの母体搬送を24時間体制で受け入れています。

新生児センターは赤ちゃんの集中治療室。総合周産期母子医療センターの開設に先立ち、2010年8月に稼働を開始しました。集中治療を必要とする

4階病棟

総合周産期母子医療センター

新生児センター
NICU：18床
GCU：36床

母体胎児センター
MFICU：6床
一般病棟：58床

10th Anniversary Message

10周年を迎え 新たな出発へ

総合周産期母子医療センター長
加藤 有一



「妊婦さんが希望に満ち、出産が祝福に包まれ、生まれた赤ちゃんが健やかに育まれる。そんなお産を守ってほしい」と前センター長である松澤克治医師が常々口にしていた言葉です。私たちスタッフは丸と丸となり、その実現に向けてひたむきに取り組んできました。気付けば、あつという間に10年。いつも一緒にお産を守ってきた産科クリニックや周産期病院のみなさんには感謝の気持ちでいっぱい입니다。

周産期医療には、少子化問題を含めてまだまだたくさんの課題が残っています。しかし、赤ちゃんのいない社会に未来はありません。「ひたむき」とは「直向き」とも書きます。これから私たちには、いかなる問題にも真正面から向き合い、その解決に向けて全力で取り組んでいきます。ありふれた日常の中で新しい生命が当然のように芽吹き続けることを心から願って。どうか安心してお産を迎えてくださいね！

10年のあゆみ

1 【2010年8月】
新生児センター開設

祝 新生児センター開所式



総合周産期母子医療センターの開設より一足早く、新生児センターを開設！

2 【2010年8月】
新生児ドクターカー「きらり」稼働開始



新生児センター開設と同時に、新生児ドクターカー「きらり」が稼働スタート！

3 【2010年12月】
母体胎児センター竣工
総合周産期母子医療センター開設



母体胎児センターの竣工をもって、当センターが開設！

4 【2011年6月】
西三河周産期医療ネットワーク協議会 発足



西三河のお産に関わる医療機関が集まり、意見交換を行っています！

ドクターカー愛称募集時のチラシ
※現在、募集は終了しています



10周年記念
メッセージ募集中！

センターのWEBサイトはこちらから

News & Topics

解剖慰霊式典を執り行いました

10月5日(月)、第57回安城更生病院解剖慰霊式典を院内講堂にて厳粛に執り行いました。

解剖慰霊法要は、当院でお亡くなりになった後、病理解剖のためにご献体いただいた方々に敬意と感謝を示すために毎年行っています。例年は市内の葬儀会館にて、ご遺族を招いて法要を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、大幅に内容を変更し、職員のみで開催いたしました。

式典には度会院長をはじめとする20名が参列し、芳名録奉読にてご献体いただいた方々のお名前が読み上げられると、1分間の黙祷を捧げました。続いて度会院長の式辞の後、参列者による献花が行われました。式典後は、献花の時間が設けられ、解剖に関わる病理検査や看護師をはじめとする多数のスタッフが参列しました。

昭和43年以来、病理解剖にご献体されました3,483柱のご遺徳をしのび、謹んで哀悼と感謝の意を表します。



寄付をありがとうございます

このほかにも、多くの企画・団体や個人様からご寄付・ご支援をいただいております。



■JAあいち中央より、
おいしい「いちじく」をいただきました！



■(株)サカイホールディングスより、
医療用ベッドを寄贈いただきました！

感染症対策にご協力をお願いします

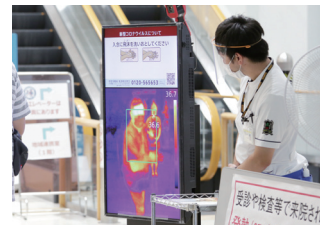
地域のみなさんのご協力・ご支援のおかげで、安城更生病院は新型コロナウイルス感染症に負けることなく医療機能を維持できています。引き続き、感染症対策へのご協力をよろしくお願いします。



手指消毒、
マスクの着用
をお願いします

入院患者さんへの
感染防止のため、
面会を禁止しています

出入り口を1カ所に
制限し、検温を実施
しています



※流行状況を考慮し、適宜変更する場合があります。
最新の情報は当院のホームページでご確認ください。 <https://anjokosei.jp/>

いんふおめーしょん こうせい

2021年1月号 No.111 発行日/2021年1月1日

発行責任者/病院長 度会正人 発行/安城更生病院 広報委員会

編集協力/株式会社エンカウント

愛知県厚生農業協同組合連合会
安城更生病院
ANJO KOSEI HOSPITAL



〒446-8602 愛知県安城市安城町東広畔28番地

TEL 0566-75-2111 <https://anjokosei.jp/>